

米海軍横須賀基地のPFOS（ピーフォス）等に係る国からの説明について
（第4報）

1. 日 時 令和4年（2022年）9月30日（金）16：40～16：50

2. 来訪者 防衛省南関東防衛局 局長
防衛省南関東防衛局 企画部長

3. 対応者 市長
市長特命参与

4. 来訪の目的 PFOS等の流出に係る説明のため

5. 概要

（1）防衛省南関東防衛局からの説明要旨

今回の横須賀海軍施設における排水処理施設からのPFOS等を含む排水につきましては、横須賀市民をはじめ関係する皆様にご不安・ご心配をおかけして大変申し訳なく思っております。

米側の方から追加的に情報提供がありましたので、本日も説明に伺いました。

8月29日に横須賀海軍施設における排水処理施設内のサンプリング調査を米側において実施し、その結果についてですが、生活排水ラインの出口でPFOS、PFOAの合算値で8,592ng/l、産業排水ラインの出口でPFOS、PFOAの合算値で5,450ng/lという数値が検出されました。

なお、米側においては11月1日までに排水処理場に粒状活性炭フィルターを設置する計画であると承知しております。また、特異な泡の有無については毎日目視による確認を行っており、原因についても引き続き調査中であるとのことでした。

防衛省としましては、米側に対し原因究明、再発防止及び施設の環境改善を申し入れたところです。また、本日、防衛省において排水処理施設の周辺海域の海水を採取し、サンプリング調査を始めたところです。今後分析を進めたいと思います。大変ご心配をおかけして申し訳ございません。

（2）説明を受けての応答

【市長】

暫定指針値の約100倍、180倍のPFOS等が流出され、原因は究明中では到底納得できない。怒りを禁じえない。

PFOS等の管理も含め、米軍の運用そのものを疑わざる得ない。国の責任において、日米で協議のうえ、早急に原因究明を図り、情報提供をしてほしい

と思います。

粒状活性炭が11月に設置ということですが、もっと早急にやっていただきたい。それ以前に排水をストップさせることを要求します。

また、国の責任において環境補足協定に基づく立入調査を実施し、結果について速やかに情報提供していただきたいと思います。

私は漁業関係者の生業を一番心配しています。今も出続けているのであれば、どのような影響があるのか甚だ心配でなりません。これも国の責任において、どのような状態であるのか、水質調査も含め、国として誠実に対応していただきたいと思います。

これまで私は米側と話をし、誠実に履行すると言っておきながら、このような状態になったのは怒りを禁じえないということは、米側に伝えていただきたいと思います。

水質検査をしながら日常的に汚泥除去すると言っておきながら、この状態ということは、米軍の運用を含めて何をしているのか、調査を含めて疑わざるを得ない。徹底して国の方でやっていただきたいと思います。

【防衛省南関東防衛局長】

市長のおっしゃるとおり、原因究明が極めて重要だと思います。米側の方も引き続き原因究明ということでやっておりますが、私共も協力してしっかりとやっていきたいと思います。排水のストップの話ですが、なかなか厳しいところもあるかもしれませんが、米側に申し入れていきたいと思っております。

漁業関係者の方への影響ですが、周辺海域のサンプリングを実施しておりますので、引き続きしっかりとやってまいりたいと思います。

国の立入りの話ですが、市長のお考えは承りましたので、米側の方と調整して参りたいと思います。

【市長】

信頼関係を大きく損なわれたと思っております。これほど遺憾に思うことはなくて。これまでの信頼関係が一気に失われたと私は思っておりますから、これを米側にしっかりと伝えていただければと思います。

以上